

川越市教育委員会第4回定例会会議録

1 会議の場所 川越市教育委員会 教育委員会室

2 開 会 令和8年6月25日 午後2時

3 閉 会 令和8年6月25日 午後4時

4 教育長並びに出席した委員

新保正俊 飯島希 岡本紘子 鈴木朗 大石懷子

5 欠席委員 なし

6 教育長の職務を行った者 教育長 新保正俊

7 説明のため出席した者

・副教育長兼教育総務部長 今野秀則

(教育総務部)

・副部長兼教育総務課長 西野裕

・教育財務課長 水村将晃 ・地域教育支援課長 吉野泰弘

・文化財保護課長 粕谷勝 ・参事兼中央公民館長 檜田麻実

・参事兼中央図書館長 羽生田奈々絵 ・博物館長 鍛冶良知

(学校教育部)

・部長 早川美彦 ・副部長兼学校管理課長 馬場雅史

・参事兼教育指導課長 粕谷英之 ・学校給食課長 依田俊一

・参事兼市立川越高等学校事務長 松本秀規

・参事兼教育センター所長 大澤崇

8 前回会議録の承認

令和8年度第3回定例会会議録を承認した。

9 議題及び議事の概要

○議案第14号 川越市立学校職員安全衛生管理規則の一部を改正する
規則を定めることについて

(副部長兼学校管理課長)

【資料をもとに説明】

(委 員)

変更箇所について、具体的に教えてもらいたい。

(副部長兼学校管理課長)

一例を説明すると、川越市立学校総括安全衛生委員会を置き、本市全体を網羅できるように変更した。具体的には、学校職員安全衛生委員会、南古谷小学校職員安全衛生委員会及び市立川越高等学校安全衛生委員会から構成される市立学校職員安全衛生委員会と、これらを総括する総括安全衛生委員会に整理をした。

(委 員)

これまでも産業医は本市にいたのか。

(副部長兼学校管理課長)

昨年度までは市長部局で委嘱している産業医に教育委員会も見ていただいていたが、今年度から教育委員会が委嘱する産業医を置き、対応いただいている。

(委 員)

第4条の見出しにおいて、総括安全衛生管理者の次に「等」を加えているが、「等」は何を想定しているのか。

(副部長兼学校管理課長)

総括安全衛生管理者が不在の際に代理者を立てることになっているため、「等」を加えた。

【全員異議なく原案どおり決定】

○議案第15号 川越市立学校総括安全衛生委員会及び市立学校職員安全衛生委員会規程を定めることについて

(副部長兼学校管理課長)

【資料をもとに説明】

(委 員)

教職員の面接指導について、どのように産業医に繋がるのか教えてもらいたい。

(副部長兼学校管理課長)

メンタルヘルスチェックを行い、高ストレス者には通知を出し、面談希望の有無を確認し、対応を行う。また、時間外勤務が多い教職員等については、学校長を通して働きかけをしたいと考えている。

(委 員)

せっかく作ったものが形骸化しないように、実効性を持って機能するためのフローや仕組み作りが必要だと思うが、どのように考えているか。

(副部長兼学校管理課長)

今年度様々な知見を積み重ね、学校長にも周知を行うなど積極的に働きかけていきたいと考えている。

(委 員)

南古谷小学校に安全衛生委員会が設置された理由はどのようなものか。

(副部長兼学校管理課長)

南古谷小学校には教職員が常時50人以上在籍しており、労働安全衛生法に基づき、単独での安全衛生委員会の設置が義務付けられているためである。

【全員異議なく原案どおり決定】

○議案第16号 川越市立博物館協議会委員を委嘱することについて

【非公開】

○議案第17号 川越市立小中学校適正規模・適正配置審議会委員を委嘱することについて

【非公開】

○議案第18号 川越市立学校給食センター運営委員会委員を委嘱することについて

【非公開】

1 0 報告事項

(1) 川越市教育委員会の活動の点検評価懇話会委員の選任について

(副部長兼教育総務課長)

【資料をもとに説明】

(教育長)

委員歴が長い方がいるが、変更を検討したのか教えてもらいたい。

(副部長兼教育総務課長)

令和7年度が第三次川越市教育振興基本計画の最終年度であったことから、評価基準の継続性も考慮し、昨年度まで就任いただいていた方に引き続きお願いしている。今後は、人選について検討を行いたい。

(教育長)

点検評価で指摘された点や改善された点が明確になるように報告書を作成してもらいたい。

(2) A I デジタルドリルの導入について

(参事兼教育指導課長)

【資料をもとに説明】

(委 員)

K P I の意味について教えてもらいたい。

(参事兼教育指導課長)

重要業績評価指標のことである。

(委 員)

製品をミライシードに決定した経緯を伺いたい。

(参事兼教育指導課長)

公募型プロポーザルで業者選定を行った。6社から参加申込があり、書類審査により3社に絞ったうえで決定した。

(委 員)

書類審査の審査項目について教えてもらいたい。

(参事兼教育指導課長)

主な審査項目は価格点と技術点である。

(委員)

実機を触った審査員の着目点はどのようなものか。

(学校教育部長)

A I デジタルドリルなので、A I がどのように使われているかに一番比重を置いた。ドリルに取り組んだこどもに対して、次に出る問題がモールステップになっているか、回答が分析されているか、一人ひとりの理解度に合っているかに注目した。

(委員)

近隣自治体でのミライシードの導入実績について教えてもらいたい。

(参事兼教育指導課長)

中核市では33自治体、政令市では15自治体、西部教育事務所管内では10自治体で導入されている。県内では1,216校中821校の導入実績がある。

効果についてだが、落札業者によると、市内のある小中学校でトライアルしたところ、前年度に比べ、学力上位層の11%が着実に増加し、主に数学のスコアが上昇したとのことであった。

(委員)

家庭に持ち帰って使うことを想定しているのか。

(学校教育部長)

主に学校で使うことを想定しているが、授業の補完を目的として、宿題で使うことも想定している。

(委員)

「教職員によるエビデンスに基づいた助言」が一番大事であると考え。具体的にどのように助言することを想定しているのか。

(参事兼教育指導課長)

やらせっぱなしにさせないことが重要であると考えている。教員がデータに基づき、こどものつまづきやすい部分を把握したうえで、授業を行うことを想定している。

(委 員)

こどもがA Iドリルを活用するための工夫について教えてもらいたい。

(学校教育部長)

こどもたちが自主的に取り組めるドリルであることが重要であり、事業者選定においては、そのようなことを評価のポイントとした。

(委 員)

良さを実感してもらうために、保護者にも試しにやってみてもらったらいいいのではないか。

(参事兼学校管理課長)

保護者への周知も積極的に図っていきたい。

(委 員)

川越市がデジタルドリルを導入する理由や効果のエビデンスをもう少し明らかにした方が良いと思う。

自身の考えにはなるが、ゆくゆくは画面上にA Iの先生が出現し、こどもたちはA Iの先生に問題の解説を求めるようになり、学校の教員がいなくなるデジタルの時代がやってくると想定している。そのような時代になった時に、「自律」的な学習が必要で、そのうえで、教師が学校でどのように指導するか、導入した先をしっかりと考えなければならないのではないかと思う。

(学校教育部長)

自律的な学習における自律とは、学習者が自ら目標を設定し、その成果に基づいてつまづきを確認し、次のステップへ繋げる一つの学習サイクルを主体的に回すことであると考えている。

A I デジタルドリル導入の成果や検証を踏まえ、こどもたちにとってプラスになるような活用方法を検討していきたい。

(委 員)

A Iを使うか否かではなく、どのようにA Iを使っていくかを考える時代になっている。成果物はA Iが出してくれるため、教員は何を評価

するかが大事になってくる。A I の利用により空いた時間を有効に活用してもらいたい。

(3) 川越市立特別支援学校の令和 9 年度生徒募集について

(参事兼教育センター所長)

【資料をもとに説明】

(委 員)

例年、欠員募集はあるのか。また、定員に達しない年はあったのか。

(参事兼教育センター所長)

欠員募集の実績はない。また、令和 7 年度は定員に達しなかった。

(委 員)

選考日の変更や地域特別選考を導入する意図はどのようなものか。

(参事兼教育センター所長)

昨年度までは、選考を他の特別支援学校より 1 週間ほど前に行っていたが、結果的に定員に達しないという状況であった。選考日を他の学校と同じ日程にすることで、倍率が比較しやすくするため、選考日を変更した。

地域特別選考については、市外の方でも 50 % は入学可能であることをアピールする狙いもある。

(委 員)

地域特別選考の出願条件である「優れた実績又は資質」についての目安はどのようなものか。

(参事兼教育センター所長)

明確な目安はないが、例えば特別支援学級の枠の中で、絵画展、書写展、硬筆展等で賞を取ったものなどを想定している。

(委 員)

目安を表記することで、募集要項を受け取る側も判断がし易くなると思うがどうか。

(参事兼教育センター所長)

今後、特別支援学校の職員による各中学校への説明の際には、詳細を伝えていきたい。

1 1 協議事項

(1) 川越市立小・中・特別支援学校の夏季休業日の変更について

(副部長兼学校管理課長)

【資料をもとに説明】

(委 員)

熱中症対策としては妥当な判断であると思う。一日当たりの授業時数が増えることになるか教えてもらいたい。

(副部長兼学校管理課長)

これまでは、標準時数よりも余剰時数を確保していたが、国から余剰時数を取りすぎないようにという通知も発出されている。授業日が4日間減となっても、多くの学校で一日当たりの授業時数を変更することなく、標準授業時数を確保できると考えている。

1 2 その他

- (1) 議案第16号から18号は性質上公開になじまない事務事業に関する情報にあたることから、これらの審議に係る会議を公開しないことについて、全出席委員が承認し、当該審議については非公開として取り扱うことに決定した。
- (2) 会議録の署名委員として飯島教育長職務代理者、大石委員が指名された。
- (3) 次回教育委員会は、令和8年7月16日(木)午後1時30分開会に決定した。